

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1		7	法令の基準に適した適切なスペースを確保しています。	今後も児童にとって最適な環境を整えていくと共に感染症対策として、パーテーションなどを活用して集中できる環境を整えていきます。
	2		7	围が定める配置数以上の配置にしています。	今後も法令の基準を遵守したうえで利用児童数に合わせて職員を適切に配置できるように努めていきます。
	3		7	対策として手摺を持つよう声かけや、階段昇降時の見守り立位置を決めている。	階段など児童に危険がないが職員が配慮を行って安全に過ごすことができるようにしていきます。
業務改善	4		7	空き時間や定期的なミーティングで情報共有や問題提示、解決策、結果を共有しています。	職員の勤務時間や勤務に合わせて日時などを調節し話し合いの場を設けていきます。また、常に支援の改善点、療育の計画や情報共有を職員全員が把握できるように会議録や職員連絡帳を活用しています。
	5		7	年に一度アンケートを実施し、職員間で共有し業務改善に繋がっています。	今後も、保護者様のご意見をもとに業務改善に努めていき、ご相談があった場合は職員間で情報共有し、対応を検討していきます。
	6		7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8		7	年間計画の研修に従い実施し、外部研修など個々に参加しています。	今後も事業所内研修を継続し、研鑽に努め職員一人ひとりの専門性を高めるとともに、コロナ収束後には積極的に外部の研修へ参加してまいります。
適切な支援の提供	9		7	定期的なアセスメントを実施し、職員間でも共有できるよう話し合いを行っています。	今後も保護者様のご意向や児童の特性を把握したうえで作成できるよう心掛けていきます。
	10		7	定型アセスメントツールを使用しています。	今後もモニタリング時には統一しているチェックシートを活用して状況を把握し、保護者様のご意向を確認していきます。
	11		7	グループワークなど複数の職員で計画し、児童の状況にあわせて社会性やコミュニケーション活動を実施しています。	今後も季節などに合わせたプログラムを職員で立案した内容をチームで取り組んでいきます。
	12		7	職員それぞれが活動内容を思索し、多岐にわたって活動できるよう工夫しています。	年間計画や季節ごとのプログラム、その年の時事なども取り入れて、利用児童にあった活動を心掛けていきます。
	13	6	1	長期休暇時は普段できない事を取り入れて、長い休暇時間を工夫するよう努めています。	平日は支援時間が短く着座での学習がメインとなりますが長期休暇、土曜日等は、時間を長く使える課題に取り組み利用児童のニーズに合わせてきめ細やかな課題設定を行っていきます。
	14	5	2	個別活動に加え適宜グループワークを設定し活動しています。	今後も同様に個々の状況に合わせて活動内容を組み合わせ計画をたてていきます。
	15	5	2	児童の変化に合わせてその都度、報告や打ち合わせを行っています。	今後もその日の支援内容について、保育士や教員経験者等の意見を踏まえて話し合い、支援の内容・担当を決めていきます。
	16	6	1	療育中に気になった事や問題行動が見られた時は話し合い課題を見つけ、以降の療育を取り入れています。	話し合いに参加できていない職員には連絡ノートなど記録に残して共有し共通理解に繋がられるよう努めます。
	17	7		支援内容を必ず記録し、職員と情報交換しながら、さまざまな視点の共有や支援検証・改善につなげている。	今後も日々の療育内容をわかりやすく記録に残し、次の療育に活かして支援の検証や改善ができるように努めます。
	18	7		半年ごとのモニタリングを実施し、達成度の確認や見直しが必要が等検討しています。	今後も保護者様、相談支援員、保育園・学校等、療育に関わる機関と連携を深めより良い支援計画の作成に取り組んでまいります。
19	7		支援計画の中に取り入れ支援を行っています。	今後も基本活動を軸に、利用児童が楽しんで通所し成長できるような支援内容を計画していきます。	
関係機関や保護者様との連携	20	6	1	児童発達支援管理責任者が参画しています。	担当者会議に参加する職員は、支援に携わっている職員からの意見や、情報をもとに関係機関に情報提供ができるよう努めていきます。
	21	7		月間予定行事の確認を行い、保護者様に適時連絡や調整を行い、ミスがないように心がけています。送迎の際に「変わりないですか？」と伺う事を心掛けて、その時々児童の様子を共有しています。	利用予定日や下校時間の変更など、担任の先生と連絡調整を行い、トラブル防止に努めています。
	22		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について検索してまいります。
	23	7		他事業所と情報交換共有することで成長過程など把握しています。	今後も継続して保育所や幼稚園などの就学前に児童が利用していた関係機関などは相互に情報共有を行い相互理解に努めていきます。
	24	4	3	保護者様、ご本人様からの要望に基づいて提供しています。	現在までに学校を卒業した児童はいませんが、適宜進路についての相談や情報提供の準備を整えていきます。
	25	7		情報交換や共有はしていますが、今後交流や勉強会を通して連携を図っています。	さまざまな研修に積極的に参加し、支援の向上に努めていきます。
	26		7	交流はないが、送迎時に様子を話し合えることでコミュニケーションを図っています。	コロナなどの感染症を配慮し実践できていませんが、外出する機会を設け地域との交流も深めていきたいと思えます。
	27		7	今後、参加できるようにしていく予定です。	地域の自立支援協議会の研修や講義などの機会には積極的に参加し職員の資質向上に繋がっていきます。
	28	7		送迎時などを利用し、日頃から保護者様と連携を図り共通理解に努めています。	今後も、送迎時や電話等連絡しやすい関係を利用保護者様と築いて情報交換・共有に努めていきます。
	29	7		困りごとに対する対応等について適宜アドバイス等を行っています。	保護者様からの相談内容に応じてさまざまなキャリアの職員が児童に何が必要かを保護者様と一緒に考え、検討していきます。
保護者様への説明責任等	30	7		保護者様にわかりやすいよう説明を行い、確認しながら進めています。	契約時のみならず契約内容の変更があった場合に説明を行います。
	31	7		助言できる内容は、お答えして難題については持ち帰り職員間で相談し返答しています。	保護者様からの相談内容に応じてさまざまなキャリアの職員が児童に何が必要かを保護者様と一緒に考え、検討していきます。
	32		7	今後、参加できるようにしていく予定です。	今後必要に応じ実施できるよう検討してまいります。
	33	7		苦情については体制を整備し迅速かつ真摯に対応するよう努めています。	会社内での苦情内容の情報も事業所間で周知するよう努め、対応の参考にしています。今後も保護者様との信頼関係を大切に連携を取り支援の内容等の質の向上に努めていきます。
	34	7		毎月の連絡帳カレンダーなどで活動内容をお伝えして発信しています。	児童カレンダー・SNS・公式 Web サイトのブログ・COMPASS だより季刊発行など活動内容の報告や、定期的な COMPASS だよりの発行の継続と内容の充実を図ります。また、事業所での行事の様子についても保護者様が見て楽しめるようなものを発信していきたいと考えています。
	35	7		個人情報の取扱いに十分注意しています。	今後も、個人情報の管理については、最大限に注意を払い全職員が意識し安心してサービスをご利用いただけるよう徹底します。また、ブログ等掲載の機会がある場合はその都度お知らせし、確認を行っています。
	36	7		ご家庭の背景などを考慮し声掛けや支援を臨機応変に対応しています。	相談窓口を児童発達支援管理責任者にして、保護者様の困りごと、相談にスムーズに対応できるよう心掛けていきます。
	37	7		現在は行事などは行えていませんが、児童たちが楽しめる活動、今後も工夫していきます。	コロナ収束後は外部研修のご意向をお聞きし、地域住民参加の行事も検討したいと考えています。
非常時等の対応	38	7		緊急時対応マニュアル、感染対策マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	今後もマニュアルの周知と訓練を再確認、全職員がマニュアルの内容を把握できるよう取り組んでいきます。
	39	7		各種避難訓練は年間を通して計画・実施し、振り返りも行い改善点注意点を確認しています。	今後も災害時を想定した訓練を実施していった内容を保護者様へ周知させていただきます。
	40	7		事例検討などの研修を通して知識を深め、再確認を行っています。	今後も事業所内での研修を継続します。また収束後は外部研修へも参加し、保護者様が安心して通所できる環境設定、職員の育成に努めていきます。
	41	7		現在の、拘束が必要な障害がある児童はいませんが今後、児童の状況に合わせて、身体拘束の必要があれば計画を立案し保護者様と話し合いの元で行っていきます。	今後も保護者様へやむを得ない状況に限って行う場合は十分に説明を行い、同意を得たうえで個別支援計画にも記載してまいります。
	42	7		アレルギーの有無や種類など確認を提供する機会には事前に細かく把握し、対応しています。	児童のアレルギーに関する情報を全職員で共有を行い、事故のないよう十分に注意してまいります。また情報は定期的に変更を高め再確認してまいります。
	43	7		毎月、ヒヤリハット報告を行い職員間で共有し、今後活かせるようにしています。	引き続きヒヤリハットの事例を情報共有し全職員がヒヤリハットを意識できるように仕組みづくりを推進し、児童が安全に過ごせるよう努めていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。